

# ケーンのリードと違ったコンスタントに 80%~90%のレベルを保てるのがレジエールの最大の魅力。



楽器の展示試奏コーナーにディスプレイされたレジエール・オーボエリード。

レジエール 要するに、世の中には「使えるリード」と「使えないリード」の二つしかないということですよ(笑)。ハルトマン 削り方は国や人によって様々ですが、結果は大体同じなんですよ。もちろん、例外的な人はいます。それは国外。世界のマジヨリティ、おそらく80%以上のオーボイストは、ほぼ似た硬さのリードを使っているんですね。

レジエール ヨーロッパの都市、ローランドンで様々なモニタリングを行いました。ハルトマン 「面白いことに、「プラスチックとは思えない」という反応はほとんど

レジエール ケーンと全く同じデザインにする使えないリードになる。ハルトマン この素材に合わせてどうデザインすればいいかのノウハウは、もう分かっています。

レジエール 人によつては柔らかいと思つたり硬いと思つたり、ミディアムだつたりミディアムハードだつたりするかも知れません。しかし、それに合わせて何種類ものリードを作らうとは全く思つてないんです。

ハルトマン そう。様々なオーボエ奏者に吹かせて意見を聞いたところ、いろんなタイプのリードを作る必要はないという結論になつた。

レジエール 要するに、世の中には「使えるリード」と「使えないリード」の二つしかないということですよ(笑)。

ハルトマン 削り方は国や人によつて様々ですが、結果は大体同じなんですよ。もちろん、例外的な人はいます。それは国外。世界のマジヨリティ、おそらく80%以上のオーボイストは、ほぼ似た硬さのリードを使っているんですね。

レジエール そう。ある日とても難しい曲を吹き、翌日も同じプログラムだったとしたら、ケーンのリードだと翌日には状態が変わつて吹けなくなる可能性がありますが、レジエールにそんな心配はありません。

ハルトマン 我々のようないつもプロにとって、いつも同じレベルをキープするということはとても大切なことです。コンスタン

トの恐らく90%はこのスタイルでしょう。と音でても、シンセティック素材に合わせてデザインしていますから、ケーンと全く同じわけではない。

レジエール ケーンと全く同じデザインにする使えないリードになる。ハルトマン この素材に合わせてどうデザインすればいいかのノウハウは、もう分かっています。

レジエール 人によつては柔らかいと思つたり硬いと思つたり、ミディアムだつたりミディアムハードだつたりするかも知れません。しかし、それに合わせて何種類ものリードを作らうとは全く思つてないんです。

ハルトマン そう。様々なオーボエ奏者に吹かせて意見を聞いたところ、いろんなタイプのリードを作る必要はないという結論になつた。

レジエール 要するに、世の中には「使えるリード」と「使えないリード」の二つしかないということですよ(笑)。

ハルトマン 削り方は国や人によつて様々ですが、結果は大体同じなんですよ。もちろん、例外的な人はいます。それは国外。世界のマジヨリティ、おそらく80%以上のオーボイストは、ほぼ似た硬さのリードを使っているんですね。

レジエール そう。ある日とても難しい曲を吹き、翌日も同じプログラムだったとしたら、ケーンのリードだと翌日には状態が変わつて吹けなくなる可能性がありますが、レジエールにそんな心配はありません。

ハルトマン 我々のようないつもプロにとって、いつも同じレベルをキープするということはとても大切なことです。コンスタン

トの恐らく90%はこのスタイルでしょう。と音でても、シンセティック素材に合わせてデザインしていますから、ケーンと全く同じではない。

レジエール ケーンと全く同じデザインにする使えないリードになる。ハルトマン この素材に合わせてどうデザインすればいいかのノウハウは、もう分かっています。

レジエール 人によつては柔らかいと思つたり硬いと思つたり、ミディアムだつたりミディアムハードだつたりするかも知れません。しかし、それに合わせて何種類ものリードを作らうとは全く思つてないんです。

ハルトマン そう。様々なオーボエ奏者に吹かせて意見を聞いたところ、いろんなタイプのリードを作る必要はないという結論になつた。

レジエール 要するに、世の中には「使えるリード」と「使えないリード」の二つしかないということですよ(笑)。

ハルトマン 削り方は国や人によつて様々ですが、結果は大体同じなんですよ。もちろん、例外的な人はいます。それは国外。世界のマジヨリティ、おそらく80%以上のオーボイストは、ほぼ似た硬さのリードを使っているんですね。

レジエール そう。ある日とても難しい曲を吹き、翌日も同じプログラムだったとしたら、ケーンのリードだと翌日には状態が変わつて吹けなくなる可能性がありますが、レジエールにそんな心配はありません。

ハルトマン 我々のようないつもプロにとって、いつも同じレベルをキープするということはとても大切なことです。コンスタン

なかつた。素材を問題にした人はほとんどいないで、みんな普通にリードとして吹き、ボジティブな感想を述べてくれました。ハルトマン 本当に吹けるリードが

レジエール もともと気楽に安心してデザインすればいいかのノウハウは、もう分かっています。

ハルトマンさんはベルリンフィルで実際に使つていらっしゃるわけですね。

ハルトマン もちろん使つています。ケーンのリードも併用しています。というの

は、ケーンのリードを作るのを止めたいとは思わないから。削るのは好きですか

らね(笑)。レジエールがもつと前からあつたら、リード削りはもつと樂しかつたかも知れない。確実に吹けるリードが1本手元にあれば、もっと氣楽に安心してケーンのリードを削れますからね。現在は、演奏する場所や曲によってレジエールとケーンのリードを使い分けるのが自分ではベストだと思っています。

レジエール でも、どうでしょうね。レジエールがケーンを超える日がくれば、レジエールだけを使つようになるのでは? 演奏家は常にベストのものを使いたがりますから。

——クラリネットやサックス奏者の中には、「レジエールはコンディションが変わらず、いつも平均的なレベルをキープできるから使う」という人もいます。

レジエール そう。ある日とても難しい曲を吹き、翌日も同じプログラムだったとしたら、ケーンのリードだと翌日には状態が変わつて吹けなくなる可能性がありますが、レジエールにそんな心配はありません。

ハルトマン 製約書のどこを見てもそんなことは書いていない。だって、我々はいつも「もつと良いものはないか?」と探し続ける人種だから。学生たちは上達するためにより良いものにトライするわけですが、私のような年齢とキャリアを積んだ演奏家は、現状を維持するためにはいつもより良いものを求めているんです。こうしなかつたら、音楽家人生の終わりの始まりになります。

——先行発売されたバースーン用のリードはもうかなり浸透したと思いますが。レジエール 世界各国でとても好調になりました。オーボエ・リードで開発した技術をバースーン・リードにも投入し、以前よりも精確に作れるようになります。このことは多くのバースーン奏者のみなさんに是非お伝えしたい。

を保てるのであれば、それにしてはいけない。ケーンのリードではそれがしましまは裏切られます。

回復のヴェンツエル・フックス(首席クラリネット)も時々はケーンを使うこともあります。ちょうど3週間前、イタリアでモーツアルトのコンチニエルトを演奏しました。リハーサルではケーンのリードを使ったのですが、逆にレジエールの方が良い場合もある。ちょうど3週間前、ボエのメンバーから「レジエールも聴いてみたい」といわれて試したら、二人ともレジエールの方が良いという結論になりました。本番はレジエールで吹きました。

レジエール ベルリンフィルに入るには、楽器や道具などに制約があると思っている人もいるようだけれど、そんなことはないわけですね。

ハルトマン 製約書のどこを見てもそんなことは書いていない。だって、我々はいつも「もつと良いものはないか?」と探し続ける人種だから。学生たちは上達するためにより良いものにトライするわけですが、私のような年齢とキャリアを積んだ演奏家は、現状を維持するためにはいつもより良いものを求めているんです。こうしなかつたら、音楽家人生の終わりの始まりになります。

——先行発売されたバースーン用のリードはもうかなり浸透したと思いますが。レジエール 世界各国でとても好調になりました。オーボエ・リードで開発した技術をバースーン・リードにも投入し、以前よりも精確に作れるようになります。このことは多くのバースーン奏者のみなさんに是非お伝えしたい。